

ふれあい さいせい



発行

済生会西条病院

2006年 新年号 第30号

西条市朔日市269-1

TEL(0897)55-5100

新年のごあいさつ

名誉院長 常光謙輔

第2回院内クリニカルパス 大会の開催

医事課 千谷志保

病気のおはなし

皮膚科医長 佐伯美穂

永年勤続者表彰

部署紹介 循環器科

循環器科部長 末田章三

ニューフェイス紹介



西条署屋上からみた新春の石鎚山

平成18年を迎えて

院長 黒河達雄



院長
黒河達雄

あけましておめでとうございます。今年の三が日は寒さも和らぎ穏やかな滑り出しでしたが、5日からは大寒波に見舞われて各地で豪雪の被害が続出する事態となり、今年の医療界を予感させるような幕開けとなりました。四月には政府主導の診療報酬の改定が予定されており大幅な引き下げが予想されています。単純にマイナス3%で収支計算しますと赤字となり健全な運営が成り立たなくなってしまいます。今はまだ詳しい内容は不明ですので手は打てませんが、将来の医療情報開示義務づけや、病床数規制緩和を見据えて病院自体の格を高く保つことが、生き残りに必要な条件になるだろうと思っています。平成18、19年に向け大型の設備投資を予定していますが、職員のみなさんのご協力をお願いいたします。

先日、第2回院内クリニカルパス大会が開催され、3疾患について医師以下パラメディカル（5～6部署）の方がスライド形式で発表討論されました。大変きめ細かい内容で各部署間の連携もうまくいっているようで頼もしく思いました。現在73疾患にパスが利用されていますが、もう少し各科のパス利用が増えてパスどおりの治療が実行されれば平均在院日数も短縮され経営安定に一役買ってくれるのではと期待しています。

今年は1月早々寒波に襲われましたが、必ず暖かい春が来ることを信じて、また大きな事故のない1年が過ごせますよう祈念いたしております。

平成18年1月



名誉院長
常光謙輔

新年のごあいさつ

名誉院長 常光謙輔

明けましておめでとうございます。皆様方にはよいお年をお迎えのことと存じます。年末・年始仕事をしていただいた方々はお疲れさまでした。我々の仕事には365日、24時間切れ目はありません。

昨年12月初旬以降から例年になく厳しい寒さが続いており、年明け早々から各地で大雪による被害が続出しております。皆様方にも十分注意していただきたいと思います。

昨年は病院の事業として医療機能評価の再受審をはじめ多くの事業がありましたが、皆様方のご協力のおかげで無事やり終えることができました。有難うございました。

今年はCT装置を32列の最新式のMD-CTに入れ替えるのをはじめ、南側の駐車場の整備、北側の瀬戸内バスの土地購入と駐車場としての整備、さらには南側の放射線治療棟の建設とPET-CTの設置などの予定を立てております。

医療制度改革（というより改悪ですが）のあおりを受け、診療報酬がますます締め付けられてくることが予測されます。こういう情勢の中でこれらの事業をやっていくのは並大抵のことではありませんが、みんなで力を合わせてやり遂げたいと思いますのでなにとぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成18年元旦

第2回院内クリニカルパス大会の開催

医事課 千谷志保

平成18年1月14日、第2回院内クリニカルパス大会が愛媛県立科学博物館多目的ホールでとり行われました。今回の大会では『白内障』、『慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術』、『経皮的冠動脈形成術』の3疾患についてとりあげられ各チームより発表されました。

内容はどれも簡潔かつ具体的でわかりやすく、積極的な意見や提言もありました。また先生方の発表は、ふだん私達には目にふれることのできないもので、手術の映像や疾患部の説明など大変興味深く見させていただくことができました。発表後の質疑応答も発表内容をよりわかりやすくしてくれたと思います。

このクリニカルパス大会を通して他の職種や業務内容を理解していくとともに、今後も患者さんの立場にたったよりよいチーム医療を提供できるよう努力していきたいと思っております。

最後に、忙しい日々の業務の合間をぬって準備して下さったクリニカルパス委員の皆様、そして発表された皆様、大変ご苦労さまでした。



院内クリニカルパス大会の様子

病気のおはなし

皮脂欠乏性湿疹(乾皮症)

かんびしょう



皮膚科 医長
佐伯 美穂

冬になると、お風呂上がりや布団の中で、すねなどがかゆくなることがあります。もしかしたら、皮脂欠乏性湿疹かもしれません。

皮脂欠乏性湿疹(ひしけつぼうせいしっしん)は、別名「乾皮症(かんびしょう)」とも呼びます。皮膚がカサカサして、はがれ落ちたり、かゆみを伴ったりしてきます。ひどくなると、赤みをおびてかきこわしてしまい、ひび割れをおこしたりします。

皮膚では、水分を保つために、皮脂腺からの皮脂や細胞間脂質が、体の水分が出ていたり、外の水が入ってきたりしないように、「皮脂膜」をつくっています。このうち、皮脂腺からの皮脂の量は、性ホルモンによって影響をうけます。お年寄りでは、この性ホルモンが減ってきているため、若い人に比べ皮脂腺の活動が落ちており、水分を保つ力が落ちてしまいます。このため、すねなどのもともと皮脂腺の活動のゆるやかなところで、「カサカサ」を起こします。

「カサカサ」がひどくなると、皮膚の表面にある「角質」が縮んでしまい、ひびわれをおこします。このひびわれは、ちょっとした刺激にも敏感なので、すぐかゆみや軽い痛みをおこしてしまいます。これを、知らず知らずのうちにかきむしってしまうことで、更にかゆくなっていきます。そのうえ、こたつやお風呂やふとんであたたまってしまうと、皮膚のかゆみは悪くなる傾向があります。

だから、かゆみを起こさないために、①「カサカサ」してきたなと思ったら、かゆみが出る前に、保湿剤を塗ってください。②もしかゆくなってしまったら、かきこわす前に、早めに皮膚科に来てください。かゆみどめの塗り薬を塗るとおさまります。③皮膚をあたためすぎていないか(長湯・湯たんぼ・カイロ)見直してみてください。



乾燥した肌(足)

お薬

皮膚の状態にあった外用薬(ぬり薬)や内服薬(のみ薬)を用いて、かゆみの軽減を図ります。外用薬には皮膚の炎症を抑えるステロイド(副腎皮質ホルモン)外用薬・非ステロイド系外用薬、皮膚の乾燥を防ぎ、うるおいを補う動きをする保湿剤などがあります。

内服薬には、かゆみをとることを目的とした、抗ヒスタミン薬や抗ヒスタミン作用のある抗アレルギー薬があります。

医師から処方された薬は、自己判断で勝手にやめると急激に症状が悪化してしまうことがあります。

とくに外用薬は指示された部位や回数などの使用方法をきちんと守るよう心がけましょう。



食生活のポイント

- ・栄養のバランスを心がける
- ・ビタミンA(レバー、牛乳、乳製品、卵黄、うなぎ、小松菜、ホーレン草等)をとる
- ・不飽和脂肪酸を多く含む魚(アジ、サケ、サバ、サンマ、イワシ、ハマチ等)や植物油(オリーブ油、ごま油、菜種油等)をとる
- ・禁煙をする

☆お食事のことで、不安や疑問に思われることがございましたらいつでもお気軽に声をかけてください。

管理栄養士
越智 泉



平成17年度済生会学会・総会

永年勤続表彰

30年勤続表彰を受けて

事務次長 小野晃照



平成17年度済生会総会で30年の永年勤続表彰を受賞できましたのは、偏に温かく見守って頂きました職員皆様のお蔭だと心よりお礼申し上げます。

九州厚生年金会館で開催された総会は、式次第により進行し、表彰式となりました。永年勤続表彰者の氏名が順次読まれる中、就職した時から本日まで勤務させていただいた間の出来ごとが脳裏に浮かんできました。

この30年間を振り返って見ますと、昭和50年に医事課に配属となり計算（ソロバン）からレセプト作成・請求書発行まで全部手作業で処理していました。昭和55年に常光院長が赴任されてから、病院運営が安定化し、業務の効率化を図る目的のため、昭和59年10月にコンピューターシステムを導入しました。このことが、昭和61年10月の新築移転後の増大した業務を、無難に処理できた要因であったと思います。それから、医療界が護送船団方式から届出制度に変更され、一定の条件をクリアした医療機関のみ算定が出来るようになりました。当院の医師、看護師、コメディカル及び事務員等が一致団結して、様々な条件をクリアし、届出を行いました。特に、開放型病院の承認、特定集中治療室管理の届出が受理されたことは強く印象に残っています。

また、平成11年4月には下からの事務職員の押上もあり、総務課へ配属となりました。不慣れな業務等で悩んでいた時に温かい手を差し伸べて頂いた方々の顔も思い出しました。本当にありがとうございました。

これからも、西条病院の発展に微力ながら寄与できるよう努力いたしますので、どうかよろしく願い申し上げます。

20年勤続表彰を受けて

看護部長 大仲道子



平成17年10月16日、総裁寛仁親王殿下のご臨席を仰ぎ、福岡北九州市で第58回済生会学会・平成17年度済生会総会が開催され、その席上20年勤続表彰を頂き、まことに光栄に思います。昭和60年に再就職して20年、家庭と仕事の両立でしたので家族の理解と協力、先輩・職場の同僚にささえられて、続けられたことに感謝いたします。

20年を振り返ってみると、昭和61年10月に病院の新築移転で、広々としたナースステーション、明るい病室、広い廊下、整備された医療機器等、この病院で勤務できることをうれしく思ったことがついこの前のようなのですが、医療界の進歩は早く、現在では不便さを感じるどころが次々とあり、患者さんにいただいた意見やアドバイスで改善する日々です。

この20年間では人間関係からの宝物も多く得ることができました。内科病棟勤務から昭和62年ICUが新設されたと同時にICU勤務に異動、その後は外来、内科病棟、整形・脳外科病棟に勤務異動で多くのスタッフとのコミュニケーションを持つことができました。周囲のスタッフにささえられたり、助言してもらったり、また、先生方にもご指導していただきありがとうございました。

平成16年4月に看護部長を拝命し、未熟ですが前向きに進んでいきたいと思っています。この1年間では大きな行事が次々とありました。第3回愛媛クリニカルバス大会、愛媛済生会ソフトボール大会、全国済生会ソフトボール大会、市民公開講座、病院機能評価受審すべて職員の団結パワーで大成果を収めることができました。この済生会の一員として働ける喜びを感じています。今後も微力ではありますが、病院の発展に貢献できるように日々努力していきますのでどうぞよろしく願います。

◆三十年勤続表彰者

事務次長 小野晃照

◆二十年勤続表彰者

看護部長 大仲道子
看護部長 大野芳江
看護部長 藤井真由美
臨床検査技師長 大田憲章
主事 豊田晴海

◆十年勤続表彰者

看護師 鈴木真由子
看護師 塩見真理
看護師 神野千架子
看護師 八鍬恵実
准看護師 塩崎留美子
准看護師 田中啓子
臨床検査技師 園部悦子
調理師 吉田京子
看護助手 明日国子
看護師 越智あけみ

平成17年度済生会学会・総会
永年勤続表彰



10年勤続表彰を受けて

臨床検査技師 園部悦子

この度は、10年の勤続表彰ありがとうございました。
 思い起こせば、この病院にお世話になったのと、末の娘が小学校に入学したのが一緒の年でした。「お母さん、お仕事終わったら、はよ帰ってきてね。」と、かわいくまとわりついていた子供も、もうなまいきな高校2年生になりました。
 私は、出産後10年間専業主婦をしていました。家族の理解と協力の下、社会にはばたくことになったのですが、久しぶりの検査室は、見るもの、聞くもの目新しく、ワクワクドキドキの毎日でした。なんたってバーコード対応のオートの機械も、パソコン入力も初めてでしたから。でも、病理だけは10年前と変わってなく、なんとなくホッとしたりもしたのです。遅れを取り戻すべく研修会にもいろいろと参加しました。この年になって、まさか試験勉強をすることになろうとは思っていませんでしたが、2000年には、認定輸血検査技師の資格を取得することができました。

最近めっきり記憶力が弱まってきたのか、さっき聞いたことが、はや何処へやら、という今日このごろですが、向上心を忘れず、日々努力して、必要とされる一人の医療スタッフとなれるように自分を磨いていきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



10年勤続表彰を受けて

5病棟看護師 神野千架子

平成17年10月16日全国済生会総会にて10年表彰していただきました。平成7年7月に当院に就職したのが昨日のことのように思われます。

この10年間いろいろなことがありました。
 四国での臨地実習指導者講習を受講させていただいたり、第1回院内学会でも発表させていただきました。また記録委員として看護診断の導入に協力させていただきました。昨年からは教育委員として、看護師会や卒後研修などの運営に参加させていただいています。

失敗も何度かありましたが、そのたびに他のスタッフや師長さんなどに助けていただき困難を乗り越えることができたと思います。

良いことも悪いこともありました。この10年表彰はそれを振り返るよい機会となりました。そして済生会西条病院で得たさまざまな経験が今日の私を作ってきたと思います。

これからも当院で働くことに誇りをもち、がんばっていききたいと思っております。



10年勤続表彰を受けて

老健看護師 越智あけみ

平成17年10月16日、第58回済生会学会・総会に出席させていただきました。

私にとっての10年とは、済生会中央病院に3年、済生会西条病院に3年6ヶ月、老人保健施設いしづち苑5年と、こまぎれではありますが、新卒後の看護師生活の大半を済生会と関わったことになりました。数多くのスタッフと巡り会え、多くの経験を、ご指導していただいたことに深く感謝いたします。

現在、いしづち苑では、入所者の「自立支援」「幸福」に向けて努力する日々です。寝たきり・車椅子生活の方も数多くおられますが、逆に私の方が、元気をいただいたり、入所者との話に感銘を受ける場面も多々あります。心ある看護・介護を根本に、自分の親も入れたいと思える介護をめざしています。

多くの方にささえられて約10年。これを節目に、新しい気持ちで前に進んでいきたいと思っております。



10年勤続表彰を受けて

OP室看護師 塩見真理

平成17年10月16日福岡県北九州市小倉で行われた第58回済生会学会・総会に出席させていただきました。

気がつけばあっという間の10年だったように思います。就職してから4病棟・3病棟・ICUといういろいろな部署を経験し、平成16年4月より手術室で勤務しています。そんな関係もあり学会では手術部位感染など感染防止対策についての発表やポスターセッションを中心に拝見させていただきました。エキスカッションも天候に恵まれ、仕事を忘れ長崎での楽しい時間を過ごしゆっくりできました。手術室に異動になってから器械・器具をはじめ覚えることが山程あり、自分にできるだろうかという不安もありましたが、師長さんをはじめスタッフの方々に支えられなんとかやってこれたのだと思います。

これからも教えていただくこと、迷惑をかけることなど多々あると思っておりますが少しずつでも一歩ずつ確実に進歩していきたいと思っております。

部署紹介

循環器科

循環器科部長 末田 章三

当院の循環器科は、循環器科医師3名、5病棟看護師24名、外来看護師2名、生理検査室3名、放射線科技師3名（心臓カテーテル検査・心筋シンチ）、心臓リハビリ理学療法士2名で、「for the patients」（患者さんのための医療）をモットーに日々診療に勤めています。最近、糖尿病・高血圧・高脂血症・肥満を合併したいわゆるメタボリック症候群を合併した患者さんが多く、冠動脈のみだけでなく、全身動脈硬化所見の検索もスローガンにかかげて、より患者さんに負担の少ないエコー検査の普及に重点を置いています。今年度には、新しく増築される新棟に循環器外来は移動し、生理検査室・血管検査室（Vasc Lab）・心臓リハビリ室も設置される予定です。昨年、新西条市の開業医の先生方と病診連携の会を発足し、より充実した医療をコンセプトにスタッフ全員で取り組んでいます。至らない点も多々ありますが、「日々これ新たなり」の気持ちで、これからも努力を続ける所存です。どうか宜しくお願いします。



循環器科スタッフ

済生会の

ニューフェイス

①氏名 ②部署 ③趣味 ④一言



- ①南 尚佳
- ②内科医師
- ③コーラス、美術鑑賞
- ④いつも柔軟であること、どこかが新しくなっていくことを心掛けたいです。